

名詞を修飾する程度副詞 -人を修飾する際の評価的意味に注目して-

梶原彩子

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

kajiwara.ayako@a.mbox.nagoya-u.ac.jp

1. はじめに

副詞は「品詞分類のごみばこ」などとも言われるように、特徴づけの難しい品詞ともいえ、語彙的な特徴や統語的な特徴を手がかりとして、現在まで様々な議論が行われている。

1.1 考察対象

本発表では、副詞の中でも「程度副詞」を考察対象とする。その中でも、特に、次のような「名詞を修飾する程度副詞」に注目する。

(1) 円載の帰国に際して、唐の文化人が贈った詩があり、佐伯さんは、「相当の人物として遇されていたはず。あまりにもかわいそう」と、本を一冊書いた。(朝日新聞 2000/12/10)

(2) 旦那様 浮気してますね (中略) もしキスマークなら 相手は相当な女です。

(<http://komachi.yomiuri.co.jp/t/2011/0518/410113.htm>)

(3) 知事が「なかなかの人物と思われたのでは」と問いかけると、加勢さんは「へこたれない、エネルギーが豊富な人ですね」と答え、(朝日新聞 2007/2/2)

(4) しかしこの、コンチェルトを作ることができるというのも ショスタコビッチ、かなりの人だと思います。第3楽章から第4楽章へかけての切れ目のない流れは、すごく素敵です。(<http://concertdiary.blog118.fc2.com/blog-entry-1256.html>)

(5) なんだか凄まじい義母さんですね。(中略) 慣れない所に来て、言葉もできないのに自分流を押し通す人ってかなりの人だと想像します。

(<http://komachi.yomiuri.co.jp/t/2012/0720/525402.htm>)

これらの例文（１）～（５）では、程度副詞である「相当」「なかなか」「かなり」が「ある人物」の何らかの程度が高いことを示している。しかし、「何の程度」が高いのかは具体的には明示されていない。

また、これらの文脈において、人物の「程度が高いこと」の評価性は例文（１）（３）（４）では肯定的に、例文（２）（５）では否定的に捉えられている。

1.2 研究課題

本研究の研究課題として、以下のように設定する。

- これらの程度副詞は、なぜ直接名詞を修飾することができるのか。
- 「程度副詞＋人物」という形をとる際に、「人物」のどのような属性（状態）の程度を高めているのか。
- 「人物」のある属性の程度を高めることの評価性が、プラスに傾きやすい語とマイナスに傾きやすい語があるのはなぜか。それらは語の意味とどう関わっているのか。

2. 先行研究

2.1 副詞の分類・定義

○山田(1936)

副詞を「陳述副詞」、「情態副詞」、「程度副詞」と３分類にわけ、程度副詞は「状態を表す語を修飾し、その語の程度限定を行う」とされ、形容詞類を直接修飾するとしている。

○工藤(1983、2000)

副詞とは、「それ自身語形変化（活用）をせず、もっぱら用言またはそれ相当の語句を修飾（限定・強調）することを基本的な機能とする語」（2000：164）と定義している。また、程度副詞に程度性と評価性の二面性があることを指摘している。

○仁田(2002：148)

<程度副詞>の基本的・中心的な働きを、「属性（質）や状態の帯びている程度性に対して、その度合いに言及することによって、属性や状態のありようを限定し特徴づけるものである」と記述している。

2.2 程度副詞の分類

仁田(2002)では、「程度量の副詞」を「程度」「量」「程度・量」を表す3つに以下のように下位分類している。

	程度限定	数量限定
純粹程度の副詞	○	×
量程度の副詞	○	○
量の副詞	×	○

※語例

純粹程度の副詞：非常に とても 大変(に) すこぶる たいそう きわめて 著しく…

量程度の副詞：よほど ずいぶん(と) かなり 結構 多少 少し ちょっと いささか…

量の副詞：たくさん いっぱい たっぷり(と) ふんだんに…

2.3 辞書における記述

人物を名詞修飾する程度副詞の辞書(『大辞林』第三版)での記述は次のようになっている。

けっこう【結構】	かなり【可成り】	なかなか【中中】	よほど【余程】	ずいぶん【随分】	さすが【流石】
<p>(名)</p> <p>①物を組み立てて、一つのまとまった組織・構造物・文章などを作り上げること。組み立て。構え。構成。「文章の-を考える」</p> <p>②特に善美を尽くして物を作ること。また、そのもの。「-を尽くした邸宅」</p> <p>③計画。企て。もくろみ。</p> <p>④準備。用意。したく</p> <p>(形動)</p> <p>①すばらしくて難点がないさま。「-な話」</p> <p>②満足できる状態であるさま。その状態で十分であるさま。「お元氣そうで-ですね」</p> <p>③それ以上を必要としないさま。十分。「もう-です」</p> <p>④氣立てのよいさま。お人好し</p> <p>(副)</p> <p>予想に反して適度に満足がゆくさま。「-役に立つ」「-おいしい」</p>	<p>(副)</p> <p>普通に予想されるより数量・程度がはなはだしいさま。相当。「-うまくいった」</p> <p>(形動)</p> <p>一に同じ。</p> <p>「-な金額にのぼる」「-に住むようになってから-になる」</p>	<p>(副)</p> <p>①物事の状態・程度が予想した以上であるさま。思っていた以上にかなり。ずいぶん。「-立派だ」「-強い」</p> <p>(打ち消しの語を伴って)思ったとおりには容易には。「-解けない」「タクシーがつかまらない」</p> <p>②中途半端に。なまじかえて。</p> <p>③(中途半端にするよりは)いっそのこと。</p> <p>(名)</p> <p>なかば。中途。</p> <p>(形動)</p> <p>①思っていた以上であるさま。かなりな。相当な。「-なやり手だ」</p> <p>②中途半端なさま。どっちつかずなさま。</p> <p>③中途半端で、むしろしない方がましなさまなまじっかなさま。</p> <p>(感)</p> <p>相手の言葉を肯定するのに用いる語。いかにも。はい、そうです。</p>	<p>(副)</p> <p>①程度がはなはだしいさま。普通の程度を超えているさま。たいそう。ずいぶん。「家にいた方が-ました」</p> <p>②すんでのところであらうなさま。</p> <p>「-怒鳴りつけてやるかと思ったが我慢した」</p> <p>③ちょうどよい程度であるさま。</p> <p>④大体。およそ。</p> <p>(形動)</p> <p>①程度がはなはだしいさま。普通の程度を超えているさま。一なことがないかぎり怒らない</p> <p>②すでに適当な程度を超えて、やめてもらいたいさま。いいかげん</p> <p>【補説】現代語では、「よほど」をさらに強めた言い方として用いる</p>	<p>(副)</p> <p>①普通の程度を超えているさま。非常に。大いに。はなはだ。「-寒い所だ」「-きれいになった」「-思ったより、案外」という氣持ちをこめる場合が多い</p> <p>②できるだけ。極力。</p> <p>③別れの挨拶(あいさつ)にいう言葉。くれぐれも。</p> <p>(「-に」の形で用いる)</p> <p>①分際に応じて。分相応に。</p> <p>②たしかに。かならず</p> <p>③(下に打ち消しの語を伴って)容易には。なかなか。決して。</p> <p>(形動)</p> <p>【ずいぶんほどの意】はなはだ非難に値するさま。ひどい。「-な話だ」「夫人(おくさま)も-だわねえ/魔風恋風 天外」</p> <p>(名)</p> <p>分相応であること。</p>	<p>(副)</p> <p>①(先行の内容を認めながらも、それと矛盾することを用いて)そうはいうものやはり。とはいうものしかし。「-離れていても-心は通じている」</p> <p>②(以前から考えられていた内容を肯定し強調するために用いて)予想どおりに。期待にたがわず。「-本場の味だ」</p> <p>③(「さすがの…も」の形で)定評のある。あれほどの。さしもの多く、後に否定的な語を伴う。「-の名選手も年齢には勝てない」</p> <p>(形動)</p> <p>先行の内容をそのまま肯定するわけにはいかない状態を表す。そうもいえない。そうとばかりいえない。</p>

3. まとめと今後の課題

例文の考察から、「程度副詞+人物」という形をとる際には、「結構」「かなり」「よほど」は評価性がプラス・マイナスのどちらの例文も見つけられたが、「なかなか」「さすが」はプラスの評価性の例文のみであった。また、「ずいぶん」については、マイナスの評価性しか持ち得ないことがわかる。

『大辞林』には、形容動詞的な用法としてマイナス評価の意味が記述されているが、なぜ「ずいぶん」だけがマイナスの評価性のみ持ちうるのかは今後の課題とする。

参考文献

『大辞林』（第三版）

工藤浩(1983)「程度副詞をめぐって」渡辺実編『副用語の研究』明治書院

工藤浩(2000)「3 副詞と文の陳述的なタイプ」『日本語の文法3 モダリティ』岩波書店

仁田義雄(2002)『新日本語文法選書3 副詞的表現の諸相』くろしお出版

山田孝雄(1936)『日本文法学概論』宝文館

【例文の出典】

ネット&デジタル YOMIURI ONLINE（読売新聞）(<http://www.yomiuri.co.jp/net/>)

朝日新聞 (<http://www.asahi.com/>)

検索サイト Google (<https://www.google.co.jp/>)